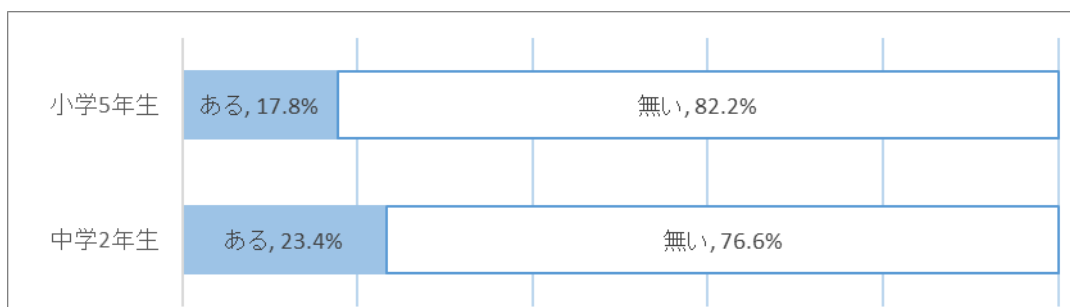


「くにたち子どもの人権オンブズマン」についてのアンケートの実施

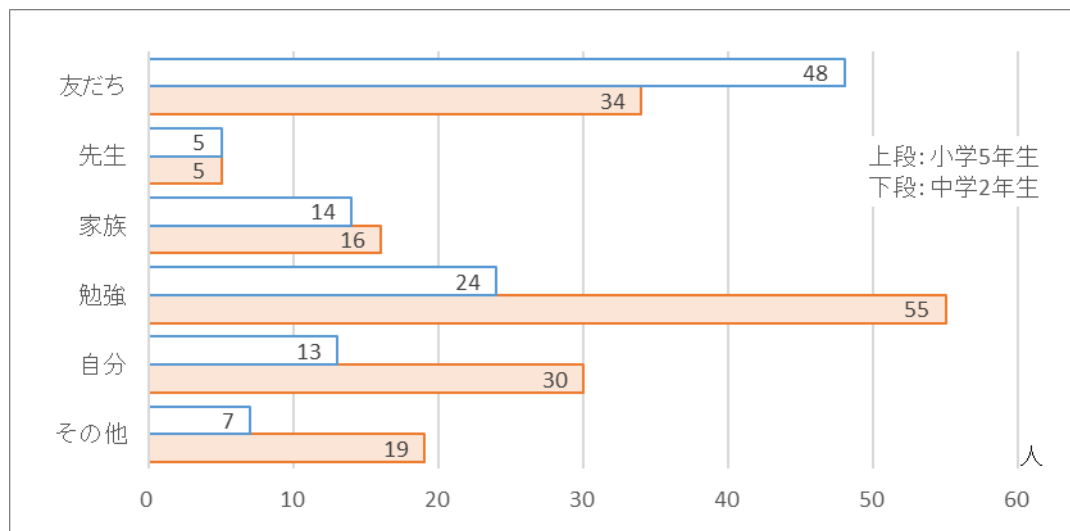
令和7年10月、市立小中学校の小学5年生と中学2年生を対象に、くにたち子どもの人権オンブズマンの周知度と子どもの意見を把握し、今後の活動につなげることを目的として、「子どもオンブズマン」についてのアンケートを実施しました。

制度開始から9年目を迎え、子どもオンブズマンの活動が多くの子どもたちに浸透してきましたが、今後も活動内容をお知らせしながら、より身近に活用できる環境づくりに取り組んでいきます。

質問 1 あなたは、今、悩んだり困ったりしていることはありますか？

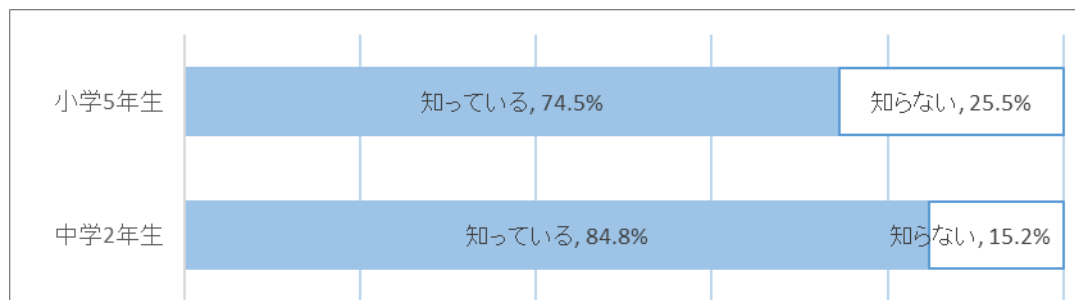


悩みがある人は、何について悩んでいますか。(いくつ選んでもいいです。)



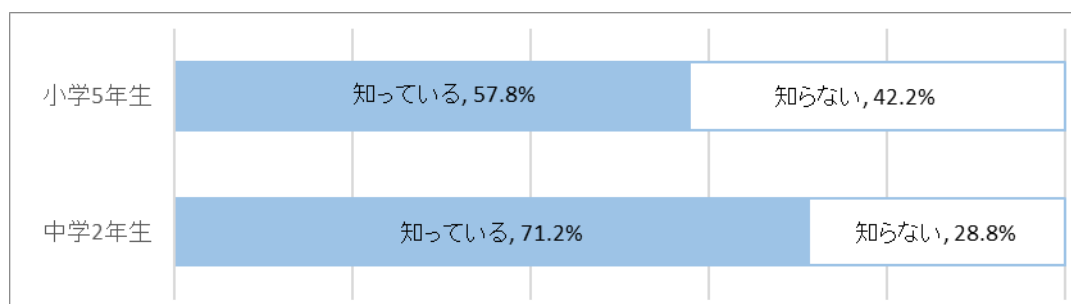
小学生では、例年「友だち」、次いで「勉強」の悩みが多く、中学生では一貫して「勉強」に関する悩みが多くなっています。中学生では、「自分」に関する悩みも増える傾向があります。

質問2 くにたち子どもの人権オンブズマン（子どもオンブズマン）を知っていますか？



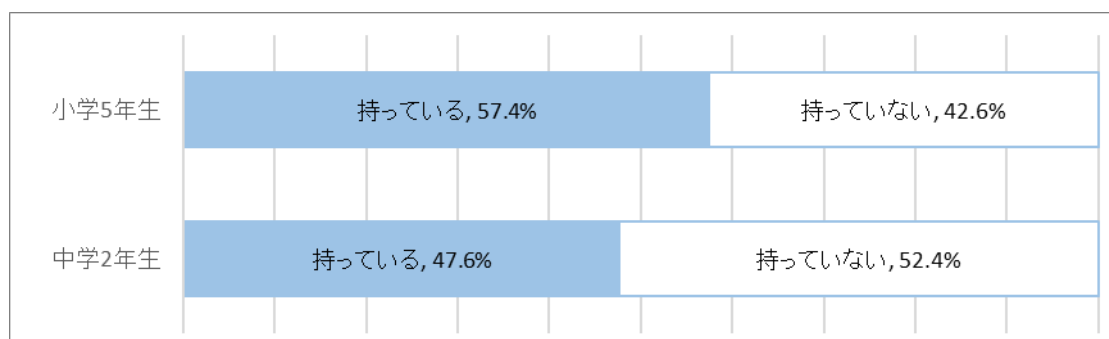
小・中学生ともに約7割から8割を超える高い認知度を維持しています。この背景には、子どもたちが小学校の入学時から子どもオンブズマン制度に触れ、継続的な周知・啓発を行ってきたことが寄与していると考えられます。

質問3 子どもオンブズマンは、子どもの人権を守るため、あなたの話を聞いて一緒に考え、あなたの意見を先生や家族に伝えたりして、解決に向けて行動していることを知っていますか？



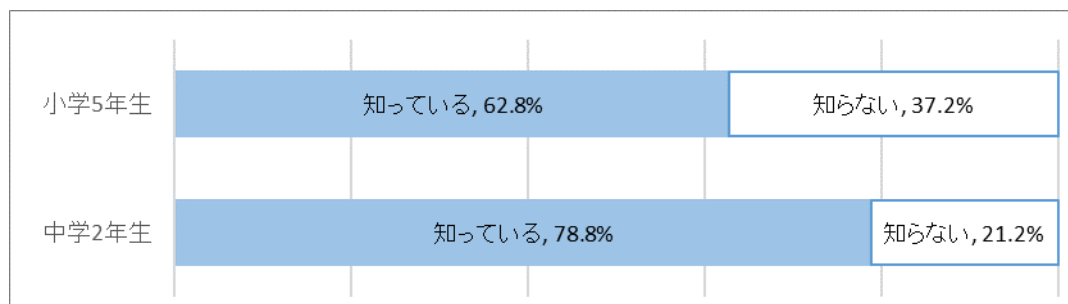
子どもオンブズマンの活動内容については、小学生・中学生ともに制度開始時から認知度は横ばいです。

質問4 子どもオンブズマンが、みなさんに配っているカードを持っていますか？

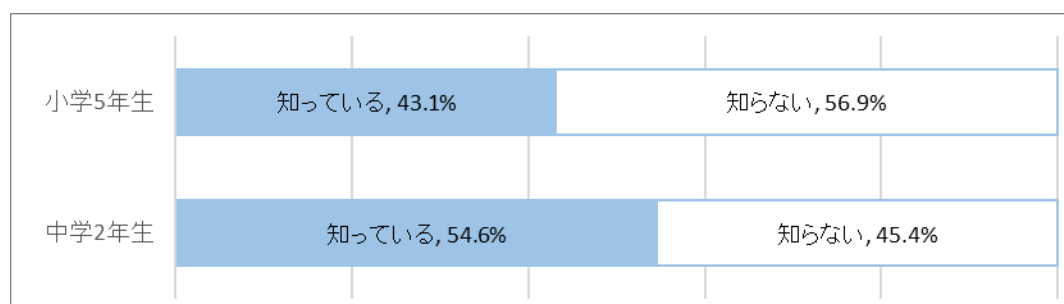


今回、初めて小学生の回答で、カードを「持っている」が「持っていない」を上回りました。思い立った時にすぐに相談できるように、カードを手元に置いてもらえる工夫が必要です。

質問 5 子どもオンブズマンに、フリーダイヤル（無料）で相談ができることを知っていますか？

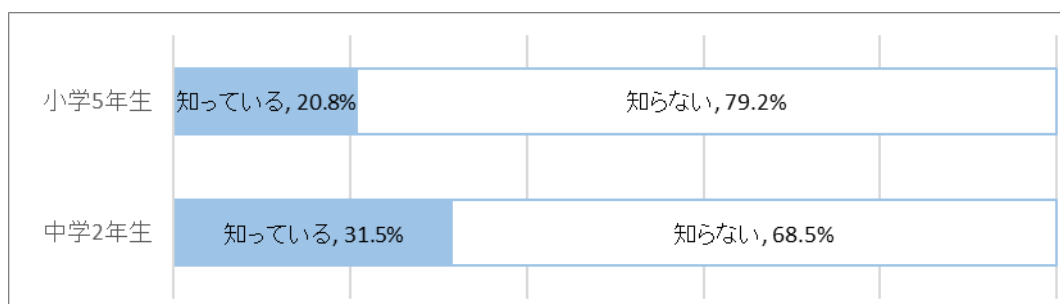


質問 6 子どもオンブズマンに、手紙で相談できるオンブズマンレター（切手がいらぬい）を知っていますか？



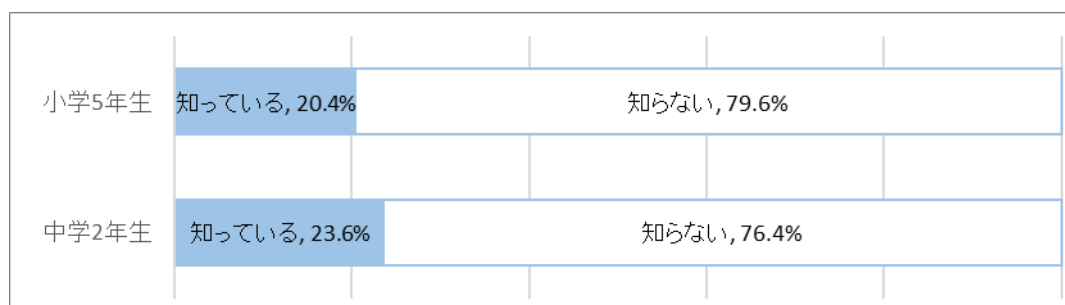
オンブズマンレターは、携帯電話などの端末がなくても無料で投函することができるツールです。レターは夏休み前に全市立小・中学生に配付したほか、市内公共施設等にも設置しています。

質問 7 みなさんに配られているタブレットパソコンのブックマークから、子どもオンブズマンに相談できることを知っていますか？



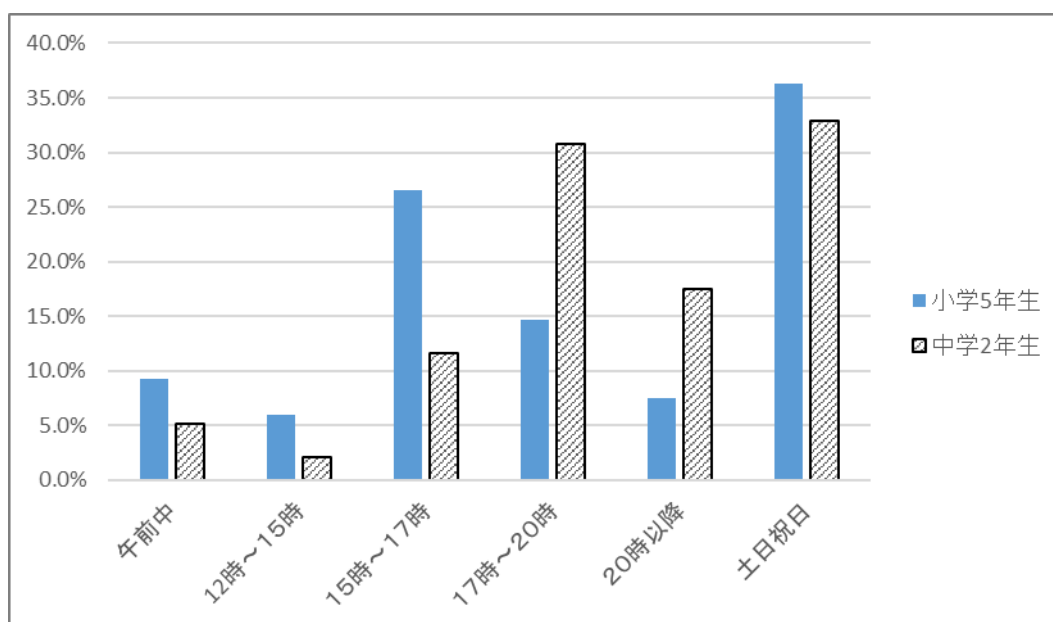
子どもたちが普段学習に使用しているタブレット端末から相談できることの認知度は、小・中学生ともに2～3割と低いものの、多様な相談手段の中で「相談フォーム」の利用が最も高く、デジタル環境に親しむ子どもたちにとって、主要なアクセス手段となっていることがうかがえます。今後さらなる周知が必要です。

質問 8 何でも相談できる出張相談会「みんなの相談」を知っていますか？



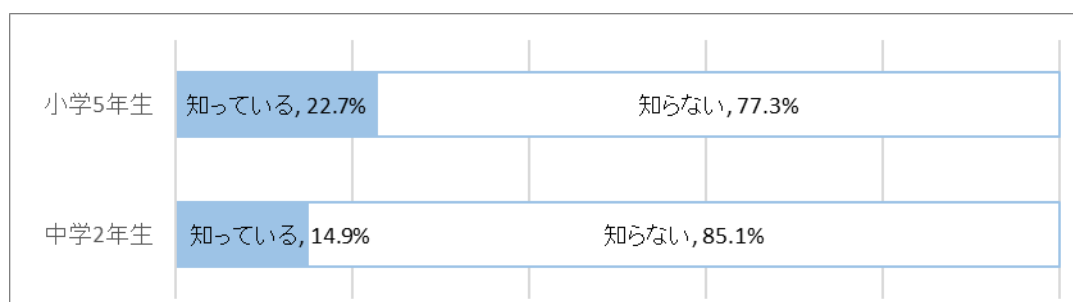
みんなの相談は、矢川プラスで月2回実施しているのに加え、令和6年度のアンケート結果を受け、令和7年度から西児童館でも実施しています。

質問 9 あなたが、平日で相談しやすい時間帯を教えてください。



相談しやすい時間帯として、中学生では17時以降の回答が多いため、今後相談時間の延長を検討していく必要があります。

質問 10 令和7年4月に国立市子ども基本条例がスタートしたことを知っていますか？



このほか「オンブズマンに伝えたいこと」として自由記述欄を設けました。
オンブズマンへの応援やオンブズマン活動への意見なども寄せてくれました。
アンケートで、自分のこと、家族のこと、友達のことなどで困っている、悩んでいるというメッセージに対しては、手紙で連絡をとったり、学校に確認したりしました。
子どもオンブズマンは、子どもの利益を第一に考え、子どもたちの声を聴いていきます。

オンブズマンコラム



かけがわ あ き
掛川亜季オンブズマン

小5と中2のみなさんに、昨年の秋に、オンブズマン
アンケートに協力していただきました。ありがとうございました。アンケートに、たくさん
の思いや意見を書いてくれました。その中に、「A Iをどう思っていますか?」、「インプ
ットとアウトプットの関係について」という質問がありました。

難しい質問ですね。

私はI T関係の難しいことはよくわかりませんが、A Iとは、おおざっぱに言うと、たく
さんの情報を取り込んで（インプット）知識をたくわえて、それをもとに回答をする仕組み
（アウトプット）ですね。

A Iが発達すれば、一生けん命勉強して知識をたくわえたり、色々な問題の解決を自分で
しなくてもよくなるのでしょうか。オンブズマンへの相談も、A Iが代わりに答えてくれ
れば必要がなくなるのでしょうか。単純なO×や、誰に聞いても答えが変わらないことなら、
A Iが置きかわるかもしれません。でも、気持ちのもやもやだったり、あいまいだけれどそ
れも含めて大切にしたいことといった、数字や言葉にしにくいこともたくさんあると思いま
す。その場で解決策を考えるために、色々な情報の引き出し、ものさしを自分自身の中に持
つことや、それを更新（アップデート）しつづけることも大事で、A Iにすべておまかせに
はできないと思っています。

みなさんはどう思いますか。みなさんの考えをきかせてくれたらうれしいです。